

## 企業社会論

谷本 寛治 教授

### 1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

企業社会論(Business and Society)における様々な問題、例えば、企業の社会的責任、企業とステークホルダーとの関係、企業の社会貢献活動、社会的責任投資、ソーシャル・アントレプレナーシップ、ソーシャル・ビジネス、企業とNGO・政府・行政の間でのコラボレーションなどにつき、経営学をベースとして研究していく。

とくに最近では、CSR マネジメント、ステークホルダー・エンゲージメントや、ソーシャル・イノベーションの創出プロセスに関心をもち、研究している。

詳しくは、研究室のウェブサイト参照のこと。

・日本語：<https://tanimoto-office.jp/index2.html>

・English：[https://tanimoto-office.jp/index2\\_english.htm](https://tanimoto-office.jp/index2_english.htm)

### 2. 指導方針

大学院は、自立した研究者となるためのトレーニングの場である。

修士修了希望者は、2年間で現場の動きを理論的に捉え、論文にまとめていく力をつけることを目指す。

博士進学希望者は、博士課程の3年間で博士論文を書けるよう、修士の間に基礎的な力をつけることを目指す。

### 3. 学生に対する要望・その他

企業をとりまく環境は常に変化している。問題の背景を理解した上で、理論的にも実務的にもその解決に向けたインプリケーションを示せる力をつけていくことが求められる。

修士課程の学生には、将来の進路をしっかりと考え、何を学びたいのかよく考えた上で進学することを望む。